

震災・復興年表(1995.1.17～1995.2.24)

年月	日	時分	動き
1995年1月	17日	5:46	地震発生(気象庁発表によると5時46分51秒8)
		5:49	NHKテレビが「非常に大きな揺れを感じた」と第1報
		5:50	伊丹市が災害対策本部設置
		5:55	地震情報第1報(大阪管区気象台)「震源地は淡路島北部マグニチュード7.2と推定、豊岡・彦根・京都で震度5」と発表
		6:00	宝塚市が災害対策本部設置
		6:00	東海道・山陽新幹線、始発からストップ
		6:00	JR西日本、関西の私鉄、地下鉄が運転を見合わせる
		6:00	名神、阪神高速道路など通行止め
		6:10	尼崎市、津名町が災害対策本部設置
		6:13	大阪管区気象台「神戸、震度6の烈震」と発表
		6:15	兵庫県警、兵庫県警察災害警備本部を設置
		6:20	近畿管区警察局「災害警備本部」を設置
		6:30	明石市、芦屋市、川西市、北湊町、東海町が災害対策本部設置
		6:30	陸上自衛隊中部方面総監部、非常呼集を発令
		7:00	兵庫県、神戸市、五色町、緑町が災害対策本部設置
		7:00	第5管区海上保安部、大阪管区気象台が災害対策本部設置
		7:05	西宮市が災害対策本部設置
		7:30	消防庁、兵庫県へ被害状況照会
		7:38	近畿地方に再び強い地震。震源地同じ。M4.9 奈良で震度4、大阪3
		8:00	洲本市、淡路町、一宮町が災害対策本部設置
		8:00	近畿通商産業局、災害対策本部を設置
		8:00	国土庁、兵庫県へ被害状況照会
		8:10	自衛隊、兵庫県へ被害状況照会
		8:30	警察庁災害対策本部設置
		8:30	兵庫県、第1回災害対策本部会議を開催
		9:00	消防庁、阪神高速道路公団が災害対策本部を設置
		9:30	兵庫県警、第1回地震被害状況を発表「死者8人、生き埋め189人、行方不明33人」
		9:40	海上自衛隊呉地方隊(広島県呉市)の輸送艦「ゆら」が救援物資を搭載し、神戸市に向け出港
		9:50	警察庁は地震による死者22人、負傷者223人と発表
		10:00	官邸で閣議。小澤国土庁長官を本部長とする「非常災害対策本部」の設置を決定
		10:00	兵庫県、消防庁に他府県消防の応援を要請
		10:00	兵庫県、陸上自衛隊第3特科連隊(姫路市)に災害派遣を要請
		10:30	NHKのFM放送が安否情報を流し始める
		10:55	警察庁は10時15分現在、死者74人・負傷者222人と発表
		11:00	防衛庁「兵庫県南部地震対策本部」設置
		11:00	気象庁「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」と命名
		11:00	政府「第1回非常災害対策本部会議」開催
		11:30	警察庁は11時00分現在「死者98人・負傷者226人」と発表
		11:50	大阪ガス、神戸市・芦屋市など42万5000戸でガス供給を停止
		12:00	災害救助法適用神戸市指定、その後各市町指定
		12:00	警察庁は12時00分現在「死者203人・負傷者711人・行方不明者331人」と発表
		13:15	第3特科連隊先発隊が活動開始するとともに、後発隊約130名をヘリで王子競技場に派遣
		14:30	小沢国土庁長官をはじめとする政府調査団が東京を出発
		15:00	神戸市、第1回災害対策本部会議を開催
		15:40	小沢国土庁長官らが自衛隊機で伊丹空港に到着、災害地域を上空から視察
		15:45	兵庫県知事、地震について記者会見
		16:00	村山総理大臣、地震について記者会見
18:30	「兵庫県南部地震対策関係会議」開催		
18:45	小沢国土庁長官、兵庫県庁にて記者会見		
18:50	警察庁は18時45分現在「死者1042人・負傷者3569人・行方不明者677人」と発表		
21:00	警察庁は20時45分現在「死者1311人・負傷者4241人・行方不明者1048人」と発表		
	18日		知事NHK全国放送、全国への支援要請 緊急輸送車以外の通行制限を実施。緊急輸送ルート設定 東灘区のLPGタンク爆発の怖れ、付近住民7万2000戸に6時00分に避難勧告が発令、1月22日14時30分解除 電話・交換機系、午前中に回復 政府、「地震対策関係閣僚会議」開催 兵庫県、「災害対策本部」を「災害対策総合本部」に改組(緊急対策本部及び災害復旧対策本部の2本部13部を置く) 兵庫県知事、地震について記者会見、小沢国土庁長官に関係省庁への緊急要望を提出 兵庫県、最初の救援物資基地「県消防学校基地」を開設(1月18日～3月15日) 死者1681人(兵庫1675人、大阪5人、その他1人)、行方不明者1017人 野中自治大臣・亀井運輸大臣・玉沢防衛庁長官現地視察 応急仮設住宅の生産供給の確立(建設省) 兵庫県警「行方不明者相談所」を開設 全国知事会「兵庫県南部地震対策都道府県協力本部」を設置 余震113回(うち有感17回)、神戸で震度3を3回記録 神戸市灘区、兵庫区、長田区等各地の大規模火災が夕刻頃には鎮火 北神急行電鉄(全線)運転再開、神戸市営地下鉄「板宿一西神中央」運転再開

1995年1月	19日	<p>阪急宝塚線全線再会 警視庁のヘリコプターで医師及び医療物資の輸送開始 スイス災害救助隊が救助捜索活動に参加 須磨区の大規模火災(1月17日、16時00分発生)が11時00分に鎮火 村山総理大臣、ヘリコプターで現地視察 政府、閣議で「地震対策関係閣僚会議」を格上げし、「兵庫県南部地震緊急対策本部」の設置を決定 「兵庫県南部地震緊急対策本部」を設置(本部長・総理大臣、本部長・全閣僚) 政府、「輸送関係省庁連絡会議」開催 兵庫県、第1次応急仮設住宅を発注(2961戸) 「兵庫県警察救急救護所を設置(15名24時間体制) 兵庫県警「外国人相談コーナー」開設 全国の警察署等で緊急輸送車両標章を交付 死者2943人(兵庫2936人、大阪7人)、行方不明者807人</p>
	20日	<p>兵庫県南部地震対策担当大臣に小里貞利氏(北海道・沖縄開発庁長官)任命 気象庁、現地調査で震度7(激震)を初適用(阪神・淡路の1部) 兵庫県、「避難所緊急パトロール隊を編成(県警と県職員の間)」 兵庫県議会、「災害特別対策委員会」の設置を決める 応急仮設住宅の工事着工 死者4047人(兵庫4038人、大阪9人)、行方不明者727人</p>
	21日	<p>フランス災害救助特別隊部隊が警察部隊と協同で活動実施 余震、北淡町で震度4、神戸で震度3 非常災害対策本部の現地対策本部(以下、政府現地対策本部)の設置を閣議決定 兵庫県、2番目の救援物資基地「グリーンピア三木」基地開設(1月21日～4月30日) 兵庫県、備蓄基地から、避難所への救援物資の直接輸送を開始 死者4565人(兵庫4545人、大阪10人)、行方不明者665人</p>
	22日	<p>県災害対策総合本部にボランティア推進班を設置 大雨予報、山崩れ警戒、25ヶ所1500所帯、4000人に避難勧告 「政府現地対策本部」、事務所開設(兵庫県公館) 兵庫県、「救護対策現地本部」5ヶ所開設 兵庫県、「避難所救護センター」設置 兵庫県、「避難所緊急パトロール」強化(100班500名体制で毎日実施) 死者4914人(兵庫4903人、大阪11人)、行方不明者202人</p>
	23日	<p>女性センター「心の相談窓口」設置 イギリス国際救助隊が救助活動に参加 余震、北淡町で震度4、神戸・西宮などで震度3を2回記録 避難者数、ピークに達する。(避難所数1153ヶ所、避難者数31万6678人) 関西電力、応急送電完了。倒壊家屋を除き復旧完了 国、県、市町の連絡会議、始まる(第1回・第2回)(以下「現地連絡会議」とする) 西宮市で仮設住宅の受付を開始 雇用調整助成金の特例適用 死者4964人(兵庫4973人、大阪11人)、行方不明者166人</p>
	24日	<p>神戸新港第1突堤に陸上自衛隊と共同で野外浴場「みうら温泉」を設置、仮設風呂の設置など入浴支援を開始 陸上自衛隊トイレ組立作業開始 兵庫県南部地震を「激甚災害」に指定することを閣議決定 兵庫県、「被害者福祉何でも相談」「緊急外国人県民特別相談窓口」開設 公営住宅等への一時入居始まる 生活福祉資金の特別貸付制度、創設決定 死者5051人(兵庫5040人、大阪11人)、行方不明者106人</p>